

令和6年度 第1回 昭島市社会教育委員会議・要点録

開催日時／会 場 令和6年4月25日（木）午後7時00分～8時40分 庁議室

出席者 谷部議長、松本副議長、小原委員、指田委員、小池委員、齋藤委員、
二ノ宮リム委員、信國委員、石川委員

欠席者 前川委員

事務局 塩野社会教育係長、久保社会教育主事

1 開 会

＜配付資料＞

資料1 令和6年第1回昭島市議会定例会代表質問及び一般質問＜生涯学習部関係＞

資料2 第32期活動記録について

- ・昭島市月間行事予定表（5月）
- ・令和6年度あきしま学びガイド
- ・令和6年度東京都市町村社会教育委員連絡協議会定期総会関係資料

2 報 告

（1） 令和6年度東京都市町村社会教育委員連絡協議会定期総会について（4/20）

議 長 会員総数290名中104名出席、委任状181名で成立した。19名表彰がされた。私が議長に選出され、令和5年度事業報告、令和5年度一般会計収入支出決算及び会計監査報告、令和6年度事業計画（案）、令和6年度一般会計収入支出予算（案）、令和6年度役員（案）について全て承認された。

三鷹市の田中先生より交流会・研修会の増額理由は何かという質問が1点あった。

ブロック毎に予算の使用状況が異なるが、産業活性化のために余らせないで使ったかどうかという提案があった。また、明治大学小林繁教授による、共に学びあう社会教育の実現に向けて～社会教育行政に求められる障がいをもつ人への生涯学習支援～の講演会が開催された。

委 員 以前、知的障害者の支援をやっていたので、ここまで考えてやってくださっている方がいるのだということを感じた。

議 長 国立市で障害者の方たちがカフェを営んでおり、6年前に国立市がブロック長であった際、その場所で研修会を行っていた。その時から継続して行っているのだなと思った。

（2） 令和6年第1回昭島市議会定例会代表質問及び一般質問等について（資料1）

※事務局より資料の説明

3 協 議

（1） 昭島市青少年問題協議会委員の確認について

※推薦者1名決定（信國委員）継続

(2) 令和6年度昭島市小学生国内交流事業運営委員の推薦について

推薦者2名決定（小池委員・指田委員）

- 事務局 今年度は団長であると担当から聞いている。
- 委員 学校が団長で社会教育委員は副団長である。
- 議長 校長先生が常に団長である。
- 委員 校長会では、今回は校長が団長ではないと聞いているのだが。
- 事務局 5月30日の夜間に国内交流の会議がある。
- 議長 以前は団長が岩泉に行ってホームステイがあったが、今年はないのか。
- 事務局 団長であれば岩泉に行くようだと思う。
- 委員 7月の終わりに岩泉から来るような話は？行くのは8月？
- 委員 岩泉からは土日でなくて平日にならないかという依頼も来ているようだ。
- 委員 社会教育委員からの団長はなくなったという話が一昨年くらいにあったようだが。
- 議長 5月30日にはっきりするので、次の会議で報告をお願いしたい。

(3) 第32期活動記録について（主に第二章・第三章の加筆修正の続きなど）

- 議長 先月に話し合った以降、委員から変更等提案はあったか。
- 事務局 特になかった。
- 議長 第2章の図を事務局に作成してもらったので確認を。また、第3章の活動について、表にした方がよい、参加者数をいれた方がよいのではないかと声があったので事務局に修正してもらった。人数については、空欄のところは1名でそれ以外は事務局で確認をしてもらいたい。
- 本日は、第4章のあきしま会議について確認していきたい。ページ数を下に入れてもらいたい。
- 事務局 入れておく。
- 議長 第4章について、皆さんからの意見等あれば。
- 事務局 (3)で冊子並びに報告書をご覧くださいということにすると、ホームページに載せる際に添付しなければいけなくなる。冊子までは載せる必要もないので、尚の後を削るのであればそれでもよい。
- 委員 市ホームページに掲載するのであれば、宮崎大会のウェブサイトがあり、そこに報告書がPDFで載っているのでそのリンクを貼ればよいのではないか。
- 事務局 別紙というのはどういうものなのか。報告書以外に資料もあるのか。
- 議長 別紙は、活動記録の最後の部分に別紙をつけようかと考えている。
- 事務局 編集発行された冊子と報告書は別にあるのか。報告書は宮崎大会のウェブサイトに掲載されているというのでそれを貼ればよいと思うが、編集発行された冊子とは。
- 議長 発表前に発表用のコンパクトにまとめた資料が出ている。冊子としては全部で2冊出ている。
- 事務局 冊子は当日の第五分科会の冊子ということか。
- 議長 そうである。報告書にも第五分科会のものが載っている。
- 委員 ウェブサイトにあるのは開催要項と報告書である。当日の配布資料は掲載されてい

ない。

事務局 報告書があれば当日の資料がなくても報告書の中に掲載されている第五分科会の部分を見れば大丈夫かと思うので報告書の PDF を貼ればよいか。

議長 それでよい。

委員 当日資料は、昭島だけで 2. 3 ページであり、報告書には載っていない。記録として昭島として残しておきたいという気持ちもあるので当日資料の 2. 3 ページを添付すればよいかと。

事務局 当日の原稿は委員と議長が作った資料ということか。

議長 そうである。なのでそれをそのまま載せればよいかと。

議長 他に気づいた点はあるか。

委員 第 2 章大会役員および大会実行委員の輪番についてとあるが、1 の宮崎大会は、輪番とは異なる話になるので、タイトルを生かすのであれば 1 は取って第 4 章のあきしま会議の中に入れる。または、1 を第 2 章に残すのであれば、第 2 章のタイトルを変更した方がよいのでは。

議長 私としては、全国大会での輪番が関東ブロックでの輪番ということでのケーススタディ的な例を挙げて説明しようとしているのだが。

委員 2 番以降はわかるのだが、宮崎大会については役員や実行委員の輪番ということが昭島市と何か関係するのか。

議長 かかわってくる。都市社連協の会長になると自動的に社協連の理事になる。都市社連協は毎年幹事市が変わるので 1 年ごとに理事が変わるということになる。たまたま関東ブロックの大会と重なったために理事が関東ブロックの大会の委員、前年度と翌年度の理事が自動的に副会長になる。私になった時に理事と同時に関東甲信越の甲府大会があったのでその副会長になってしまった。そういう意味合いで全国大会でも輪番があるということを宮崎大会という事例を挙げて説明したかった。

事務局 宮崎大会は令和 5 年に開催されていて、輪番とは全く関係なく純粋に第五分科会へ応募した。都市社連協の会長であるということは一切関係ない。そのため、輪番についてのところに入ってくるというのは違うのではないかということかと思うのだが。

議長 大会の役員は、理事兼副会長になる。副会長は 4 人いて当該年の主催県と翌年の開催県が副会長になる。

委員 それはわかるが、この文章だとそのことがうまく伝わっていないので文章を変える必要があるかと。昭島の報告書としては、そこに昭島が入っていないので違和感がある。この文章の、「なお、都市社連協としては初の応募参加により」というところ以下が主な内容となっていて、役員や実行委員とは関係ない昭島の応募参加の話であるので、そうであればあきしま会議の方に移してしまった方がわかりやすいと思うのだが。

事務局 輪番についてということで入れるのであれば、令和 4 年度に参加した広島大会は都市社連協の会長であったから行っている。会長でなければ行かないので、輪番ということで書くのであれば広島大会を書くのがよいと思う。宮崎大会は第五分科会で応募したので参加した。宮崎大会は第 2 章から除いて第 4 章に入れる。

議長 32 期以前の形であるがそれでよいか。

事務局 輪番ということで書くのであればそれでよいと思う。

議長 次回までに考えて修正案ということで出したい。

委員 第4章の3第32期に開催したあきしま会議について、(1)・(2)はあきしま会議についてだが、(3)・(4)はあきしま会議ではないので、新しく4とするか3のタイトルを変更するか。

委員 宮崎大会参加における事例発表はひとつの項目にしておいた方がよいと思う。4で「第65回全国社会教育研究大会宮崎大会参加における事例発表について」、5で「調査依頼」にした方がよいかと。

議長 (3)を外して4にして、(4)都立大学を5にする。

委員 今の5であるが、ゼミ生という言い方に違和感がある。東京都立大学学生や教授名がわかるのであれば、東京都立大学●●教授ゼミ生にした方がよいのでは。

議長 事務局で確認してもらいたい。

事務局 はい。

委員 第8回のあきしま会議に参加した大学生4名というのは確か学芸大学の学生だったと思うが、それがわかれば記録として残した方がよいと思う。

事務局 倉持先生から紹介された方だと思うので、確認すればわかると思う。

事務局 第8回あきしま会議のあとに、フォローアップミーティングを開催していると思うが、その記載はどうでしょうか。

議長 私が参加していないので入れていなかったが、ここに記載がないものを入れるかどうかということか。

委員 公式にやったものなので入れた方がよいと思う。

議長 フォローアップミーティングについては掲載することとする。

事務局 フォローアップミーティングの内容について、わかればメモでよいので参加された委員はメールで送付してもらえると有難い。

委員 ボランティア団体を立ち上げたい、公園の緑化をやってみたいというニーズがあった。

委員 若者の会議にあがってきた中で、どれを一番やりたいかを高校生に決めてもらった。

議長 議事録的なものはあるのか。

委員 ホワイトボードを撮影したものがある。

議長 事務局に送付してもらいたい。

委員 最後は高校生が自分たちで考えて決めるということで終わったかと思う。その後の支援についてはあがってきていないのではないかと。

委員 その場で高校生が話し合い、公式ラインを立ち上げるという話になった。ライングループでやりとりをしながら進めていたが、アンケートを取る段階まで行って、その後準備が進まなくなってしまった。

議長 他に何かあるか。

委員 第8回あきしま会議の参加者数の表記の統一を(。と・)。

議長 次回会議までに、第32期任期中に行った、小学生国内交流事業運営委員会、青少年問題協議会、健康づくり推進協議会の活動報告を事務局へ報告を(日付・議題)。

議 長 3 社会教育関係委員会の開催について、現在社会教育委員が幹事となっている。今年の2月についてはコロナ渦で中止とした。来年の2月に開催するかどうかについては、次期33期のメンバーで決めなければならない。

次回までに第6章今後の課題とまとめのたたき台を作るのでそれをもとに検討したい。おわりにの文章を副議長お願いします。また、各委員からの一言メッセージを書いて提出を。

活動記録について何かあれば事務局まで連絡を。

他になければ、本日はこれで閉会とする。

次回

5月23日（木）午後7時より 301会議室+Web会議

6月27日（木）午後7時より 庁議室+Web会議